



みんなで応援しよう！



東京オリンピックまで あと424日
(2019年5月27日現在)

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

3/16 【東京オリパラ機運醸成事業】パラリンピアン交流事業「パラアスリート講演会」

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたホストタウン交流計画の一環として、パラリンピアンとの交流を通じて、パラスポーツや共生社会についての理解を深めることを目的に、市緒川総合センターでパラリンピアン交流事業「パラアスリート講演会」を開催しました。講師に、車いすバスケットボールの元日本代表で、アトランタ・シドニー・アテネと三大会連続でパラリンピックに出場された三宅克己さんをお招きし、車いすバスケットボールの体験会や心のバリアフリーについての講演会を行いました。

三宅さんは、パラリンピックやパラスポーツについて紹介した後、子供たちを中心とした参加者に車いすバスケットボール競技のルールや競技用車いすの乗り方を伝えました。参加者は競技用車いすに乗り、ドリブルやパスを体験するなどして三宅さんと交流しました。

※本事業は、2018年8月に締結した「地方創生に関する連携協定」に基づき、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社と共同で開催したものです。

車いすバスケットボール体験の後には、三宅さんが車いす生活を送ることになった経緯や海外の大会などを通して気付いた日本と海外の障害者に対する接し方の違いなどを話し、「誰に対しても優しく笑顔で接すること」「できるできないは自分で決めること、何事もあきらめないことが大事」と参加者に伝えました。

参加者からは「健常者・障害者にかかわらず困っている人がいたら助けてい」「“Yes, I can.” 誰も可能性は無限大だと思った」などの感想があり、心のバリアフリーや共生社会について多くの方に考えていただく機会となりました。

本市は、今後も障害者や外国人にかかわらず、すべての人が互いの個性を尊重し、認め合い、自分らしく生活できる社会「共生社会」の実現に向けてさまざまな事業に取り組んでいきます。



▲講師の三宅克己さん



▲車いすバスケットボールを体験する子供たち

2019パラオ共和国選手団の事前キャンプが実施されます！

2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、パラオ共和国選手団事前キャンプが昨年に引き続き6月から実施される予定です。

本市の受入競技は、柔道、レスリング、陸上競技の3競技で、市内施設での練習のほか、市民の皆さんや子供たちとの交流等を行う予定です。

皆さんの温かい声援をお願いします。



▲昨年の練習風景（陸上競技）

